

遠野スタイル創造・発展総合戦略のKPIの実績について（平成29年度）

プロジェクト名	番号	内容	単位	現状 (26年度)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	達成率	達成状況	成果・評価	担当課	総合戦略 掲載ページ	
【重点プロジェクト1】 雇用確保のための内発 型・外発型商工業の振興	1	創業支援件数	件	7	目標数値	5	5	5	5	6	160.0	達成	遠野市創業支援計画に基づき、遠野市と遠野商工会が連携して遠野市創業塾の開講など創業支援に取り組んだことにより、平成29年度は8件の新規創業を支援した。	商工労働課	47	
					実績値	12	6	8								
	2	新規学卒者雇用数	人	71	目標数値	74	77	80	83	86	75.0	未達成	有効求人倍率が1.57倍と過去20年間で最も高い値を記録し、人手不足が深刻さを増している。また、人口減少に伴う市内高校卒業者の減少もあり、市内事業所への就職者の確保がますます困難な状況になっているため、目標達成ができなかった。 【就職状況】 市内高校卒業者 38名 大学、専門学校、市外高校卒業者 22名 ※公務員含む。	商工労働課	47	
					実績値	77	64	60								
	3	企業の開設・増設件数	件	1	目標数値	1	1	1	1	1	500.0	達成	地域経済の持続性確保につなげていくために、遠野市事業所設置奨励条例に基づき、市内企業の事業拡張、生産力拡大を促進、企業の設備投資及び雇用拡大に対して企業立地補助金の交付や固定資産税の減免を措置するなど、企業の増設を支援した。 【奨励措置】 企業立地補助金 1社 固定資産税減免 4社	商工労働課	47	
					実績値	2	1	5								
	【重点プロジェクト2】 タフな農林畜産業の6次 産業化と新たな仕事の創 出	4	45歳未満の認定新規就農者	人	1	目標数値	5	5	5	5	5	140.0	達成	(新規就農者が自らの就農・農業経営に関する計画を認定する制度により認定新規就農者となった人数。) 認定新規就農者となることにより、資金の融資等の支援を講じることができた。 新規就農者へのサポート体制を充実させ、個々の経営目標の達成のためきめ細かな支援を行う。	畜産園芸課	54
						実績値	6	8	7							
		5	重点野菜出荷額	億円	1.3	目標数値	1.3	1.4	1.7	2.0	2.3	82.4	未達成	(重点品目として位置付けるほうれんそう、ニラ、ピーマン、アスパラガスの出荷額。) 夏場の日照不足により生育不良となり、収量が安定しなかったが、前年実績と同様の出荷額を確保した。一方で、アスト加速化事業を有効に活用し、産地化に向け、新規栽培者等を確保できた。 今後は安定生産を目指し、生産意欲の拡大と作付面積の維持に向けアスト加速化事業の周知を図り、関係機関と連携し、きめ細やかな支援を実施する。栽培面積の確保と安定した出荷を目指し、産地化に向けた支援を継続する。	畜産園芸課	54
実績値						2.2	1.4	1.4								
6		農産物直売所売上額	億円	5.5	目標数値	5.6	5.6	5.7	5.8	5.9	103.5	達成	【まちづくり指標No.67と同様】 各直売所において販売スペースをはじめ環境整備や誘客イベント等について趣向を凝らし取り組んでいただいたことにより、販売額を維持することができた。 平成30年度は、東北横断道釜石道全線開通により、売上が減少に転じることも予想されるため、「産直ネットワーク集配システム構築業務」を通じて販路体制構築の実証や消費者ニーズ調査・分析及び販売戦略の立案等を図り、遠野産品の販売強化を目指したい。 また、遠野市産直連絡協議会において直売所同士での定期的な情報交換の場を設定し、情報の共有・発信を図る。	畜産園芸課	55	
					実績値	6.2	6.1	5.9								
7		6次産業化関連効果額	億円	16.5	目標数値	16.9	17.0	17.2	17.3	17.4	101.2	達成	【まちづくり指標No.68と同様】 昨年に引き続き商品開発コーディネーターを配置し、新商品開発や商品改良の相談に対応。また遠野ふるさと公社等市内事業者の商談会、物産展への出展など、国内の販路拡大に努めた。 海外への販路開拓においては、地方創生推進交付金実施計画（とおののもの・こころ海外経済交流プロジェクト）として、台湾の裕毛屋企業股份有限公司において遠野物産展開催やアメリカ食品スーパーと連携した商談、販売会を開催し6次産業関連効果額が増加した。 【6次産業関連効果額】 ・製造品出荷額（食料品） 4.0億円（ただし、公表前のため推計値） ・加工品出荷額 1.4億円 ・特産品販売額 6.1億円 ・農産物直売所売上額 5.9億円 （合計） 17.4億円（ただし、一部公表前の数値を含むため推計値）	商工労働課 六次産業室	55	
	実績値				16.9	17.1	17.4									

プロジェクト名	番号	内容	単位	現状 (26年 度)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	達成率	達成状況	成果・評価	担当課	総合戦略 掲載ページ
【重点プロジェクト3】 観光振興と交流人口の拡大による「で・くらす遠野」定住の促進	8	定住者世帯数	世帯	61	目標数値	70	85	100	120	140	92.0	未達成	【まちづくり指標No.92と同様】 平成29年度の移住・定住に向けた相談件数は延べ20件（14人）で、うち9世帯17人が移住・定住した。 依然、移住・定住希望者が希望する空き家の確保が課題である。 今後も、リフォーム事業助成金の利用促進、市内の不動産業者との連携を進めて物件確保のうえ、更なる定住促進を図っていく。	観光交流課	63
					実績値	74	83	92							
	9	道の駅を含む主要観光施設観光客数（外国人観光客）	万人 (外国人：人)	184 (1,208)	目標数値	184 (1,500)	185 (1,500)	186 (1,800)	187 (2,100)	188 (3,000)	83.9	未達成	【まちづくり指標No.87、90と同様】 イベントのマンネリ化、施設誘客力の低下、観光関係機関・団体が個々で動いているなど改善点が多い。 観光関係機関・団体の活動が点の活動となっており、面の活動となっていない傾向にあり、新たな観光推進体制の整備が必要であることから、昨年12月に遠野市観光推進協議会を設置し、観光推進体制の明確化を図るため、今後3年間のアクションプランの作成や、各団体の役割の明確化、マーケティング調査などを実施し、オール遠野で観光振興に取り組んでいる。 本市を世界に発信し、海外との交流促進を通じて交流人口を拡大する目的で平成28年度に「とおのもの・こころ海外交流推進委員会」を発足させ、台湾訪問ミッション、台湾「裕毛屋物産展」への参加、伊能嘉矩生誕150年記念イベント等実施した。 また、花巻・遠野・平泉観光推進協議会が実施するエージェント招請事業、プロモーション動画の制作、現地でのPR活動などを平成28年度から継続して実施している。 今後は、ラグビーワールドカップ2019釜石会場への対応や、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、本市を訪れる外国人は今後も増加する見込みであるため、アジア圏以外のインバウンド対応も行っていく。	観光交流課	63
					実績値	181 (1,542)	163 (2,334)	156 (3,368)							
10	観光者宿泊数（民泊者数再掲）	千人 (民泊者数：人)	87 (1,055)	目標数値	76 (1,100)	79 (1,125)	81 (1,150)	83 (1,175)	85 (1,200)	82.7	未達成	【まちづくり指標No.89と同様】 イベントのマンネリ化、施設誘客力の低下、観光関係機関・団体が個々で動いているなど改善点が多い。 観光関係機関・団体の活動が点の活動となっており、面の活動となっていない傾向にあり、新たな観光推進体制の整備が必要であることから、昨年12月に遠野市観光推進協議会を設置し、観光推進体制の明確化を図るため、今後3年間のアクションプランの作成や、各団体の役割の明確化、マーケティング調査などを実施し、オール遠野で観光振興を図り、宿泊者数増加に向け取り組んでいく。	観光交流課	64	
				実績値	85 (1,280)	77 (1,773)	67 (1,361)								
11	地域間交流者等受入数	人	681	目標数値	700	700	700	700	700	180.6	達成	友好都市や平成・南部藩構成市町との市民交流・児童交流・経済交流を推進したことにより、遠野市民が友好都市住民等と様々な交流を深めることができた。また、みらい創りカレッジを拠点とした企業や大学の研修の受入件数は昨年度より減少はしたものの、交流推進の拠点として継続的な取り組みを行うことにより、今後の交流人口の拡大が期待できる。	観光交流課	64	
				実績値	961	1,802	1,264								
【重点プロジェクト4】 「子育てするなら遠野」の推進	12	合計特殊出生率	人	1.90	目標数値	1.90 (H26実績)	1.90 (H27実績)	1.92 (H28実績)	1.92 (H29実績)	1.94 (H30実績)	89.1	未達成	【まちづくり指標No.45と同様】 わらすっこプランによる事業の推進を図り、少子化対策・子育て支援の充実を図るため、元気わらすっこセンター内の「わらすっこルーム」の拡張工事、「おやくつろぎスペース」を親子のくつろぎと保護者同士の交流ができる居場所としてリニューアルするなど、子育て支援の拠点として、子育てにやさしい環境づくりを更に進めた。 また、「子育て応援宣言のまち推進事業」として、わらすっこファミリー・サポート・センター事業の運営も順調に会員数が増加し、地域ぐるみで子育てを応援する環境が整い、子育てをする者が安心して働くことのできる環境の充実が図られた。 指標である合計特殊出生率については、目標数値と比較して0.21下回った。 要因については、晩婚化の現象とともに、出産年齢が高齢化していることが考えられる。 今後は、「子育てするなら遠野」として、地域や事業所を巻き込みながら、市民協働による子育てを応援するまちづくりを図るとともに、少子化対策の一環として「とおのスタイル結婚応援事業」を展開し、男女の出会いから結婚、妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援をさらに発展させ、1.94を目指して施策を展開していく。	こども政策課	71
					実績値	1.93	1.64	1.71							

プロジェクト名	番号	内容	単位	現状 (26年度)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	達成率	達成状況	成果・評価	担当課	総合戦略 掲載ページ
	13	児童館・児童クラブ年間 延人数	人	136,911	目標数値	136,250	137,900	138,400	138,950	139,450	95.5	未達成	【まちづくり指標No.48と同様】 平成29年度の延べ利用者数は、目標数値に対して6,277人下回る結果であった。 児童館及び児童クラブが地域交流事業など、特色ある活動に取り組んでいる一方、利用数が減少したことは児童数の減少が影響していることも要因のひとつである。 今後も、児童の健全育成の場、子どもの居場所として、活動内容の充実や児童館施設の計画的な整備を図り、利用者のニーズに沿った管理運営に努める。	こども政策課	71
					実績値	140,709	135,305	132,123							
	14	わらすっこ割合	%	14.02	目標数値	14.02	14.02	14.02	14.02	14.02	96.4	未達成	【まちづくり指標No.47と同様】 わらすっこプランによる事業の推進を図り、少子化対策・子育て支援の充実を図るため、元気わらすっこセンター内の「わらすっこルーム」の拡張工事、「おやくこつろぎスペース」を親子のくつろぎと保護者同士の交流ができる居場所としてリニューアルするなど、子育て支援の拠点として、子育てにやさしい環境づくりを更に進めた。 また、「子育て応援宣言のまち推進事業」として、わらすっこファミリー・サポート・センター事業の運営も順調に会員数が増加し、地域ぐるみで子育てを応援する環境が整い、子育てをする者が安心して働くことのできる環境の充実が図られた。 指標であるわらすっこ割合（年度末における、18歳以下の人口の割合）については、目標数値と比較して0.50%下回った。要因については、初婚同士の婚姻が減少していることや、晩婚化の影響により、第1子の出生時の平均年齢が高く、出産年齢も高齢化していることが考えられる。 今後は、「子育てするなら遠野」の第2ステージとして、地域や事業所を巻き込みながら、市民協働による子育てを応援するまちづくりを図り、わらすっこ関連事業をさらに発展させ、14.02を目指して施策を展開していく。	こども政策課	71
					実績値	13.86	13.71	13.52							
【重点プロジェクト5】 高齢者の自立と社会参加 の促進	15	ICT健康づくり事業 参加者数	人	462	目標数値	500	550	600	620	640	162.0	達成	前年度に引き続き、インセンティブ付き運動・スポーツプログラムを実施した。 また、将来の医療費低減のためには現役世代からの健康づくりが重要であることから、事業所単位での参加呼び掛けを行い、3事業所が新たに参加し、65歳未満の参加率が全体の5割を超えた。 新たに参加した者の約8割は運動無関心層であったこと、また、歩くことの励みになる要因として、「スタッフの励まし」や「活動量計や体組成計による数値評価」が挙げられており、事業に対する満足が得られていることが分かった。 しかしながら、60代や70代の平均歩数は着実に増加しているものの、若年層の平均歩数の伸びが見られないこと、BMIの改善者が大幅に増えていないことなどから、歩かせるための世代別のアプローチや有酸素運動の強化に取り組んでいく。	医療連携室	78
					実績値	471	718	972							
	16	特定健康診査受診率	%	50.2	目標数値	60	60	60	60	60	82.7	未達成	【まちづくり指標No.28と同様】 特定検診受診率は40～74歳の全ての国保被保険者を対象としているが、自覚症状がなく多忙な就労世代や定期的にかかりつけ医へ通院している者の受診率が低いことから、前年度より微増しているものの目標に達しなかった。しかし、県内も同様の状況にあり岩手県の平均値は上回っている（県内では10番目、14市中では2番目の受診率）。 受診者拡大に向け、法定の検査項目へ独自に検査項目を追加し、また、健診結果票に個々に合わせたわかりやすい指導内容の文面を追加するなど、健診の充実及び受診者の満足度の向上に努めている。併せて、受診機会の拡大を目的に、健診の土曜・日曜・夕方及び冬期の追加日程を実施し、特定健診の個別受診においては、国保被保険者へ人間ドックの助成額の上乗せを行うなど受診環境の整備に努めている。 今後一層の受診率向上に向け、第2次遠野市国保データヘルス計画に基づき、市医師会との連携によるかかりつけ医からの健診受診勧奨、更には、ICT健康塾の参加者や健康づくり事業等で連携している商業組合や関係団体等に対し積極的に健診のPRを推進していく。 また、国保担当課と連携を強化し、被保険者に対し制度理解の推進と受診勧奨を進めていく。	健康長寿課	78
					実績値	47.6	49.4	49.6							
	17	シルバー人材センター受 託事業の就業延べ人数	人日	15,045	目標数値	16,500	17,000	17,500	18,000	18,000	78.9	未達成	【まちづくり指標No.36と同様】 平成29年度は、前年度に比べ13人少ない24人が入会、加齢による体力低下等で30人が退会と、合計会員数は6人減少の217人となった。そのため、就業延べ人員においても前年度に比べ728人日の減少となった。 目標値には達しなかったが、厚生労働省のモデル事業では、県内初となる生涯現役促進地域連携事業により創設された「遠野市生涯現役いきいき促進協議会」の構成団体として、高齢者の経験と技術の活用促進を図った。 高齢者の知恵と技能は貴重な社会資源であるため、モデル事業を活用し、今後も会員数はもとより、新規受託事業の拡大に向け情報提供を行っていく。	健康長寿課	78
					実績値	13,921	14,540	13,812							
【プロジェクトX】 人と人とのふれあいによる “しあわせ度”の向上	18	遠野市ひとパワー (10の市民協働事業への 参加者)	HP (ひとパ ワー)	52,144	目標数値	53,000	54,000	55,000	56,000	58,000	97.5	未達成	遠野市ひとパワーの測定は、以下の10事業の参加者である。 昨年度より上回った事業は7項目、下回った事業は3項目である。 目標数値より下回った要因としては、町民運動会が雨天のため、小友町と宮守町が中止、青笹町が途中から中止となったことによる。		83
実績値	49,615	51,244	53,616												

プロジェクト名	番号	内容	単位	実績 (26年度)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	達成率	達成状況	成果・評価	担当課	総合戦略 掲載ページ
	18-1	日本のふるさと「遠野まつり」参加者数	人	9,500	実績値	10,000	9,400	10,000					両日ともに天候に恵まれ、雨で参加者数が減った前年と比較して600人の増となり、一昨年と同様の結果となった。 屋外イベントのため参加者数については、天候に左右される部分もあるが、1人でも多く参加いただける環境づくりが課題である。	観光交流課	
	18-2	市民協働の芸術文化事業の参加者及び鑑賞者数	人	11,563	実績値	6,702	9,580	9,691					【まちづくり指標No. 107、108と同様】 ここ数年、参加者数及び鑑賞者数は対前年度比では増加しているものの、平成26年度実績には及ばない数であった。 関係機関・団体と連携を図りながら、今後も継続して各活動を支援していく。	生涯学習スポーツ課	
	18-3	遠野こだわりの「語り部」認定数	人	710	実績値	792	837	878					【まちづくり指標No. 121と同様】 平成29年度は昔話1人、子ども語り部36人、歴史1人、食1人、生業1人、特別サポーター1人の合計41人を認定し、目標を達成することができた。 特に、子ども語り部については、学校との連携を図りながら取り組むことができた。このほか、認定語り部のためのスキルアップセミナーや、初心者向けの昔話教室（3回）などを開催するなどして研修の機会と場を提供した。 今後も、学校や地域団体などと連携しながら語り部の認定を行い、研修の機会と場を提供しながら、遠野の「語り」の文化を次代に継承していく。	文化研究センター	
	18-4	みんなで築くふるさと遠野推進事業参加者数	人	1,654	実績値	1,909	1,977	2,323					【まちづくり指標No. 126と同様】 「地区まちづくり一括交付型モデル事業」及び「住民自治推進事業」を実施したことに伴い、新たな参画者が加わり目標を達成することができた。また、平成29年度は新たに5地区で地区まちづくり計画が策定され、地域課題を「住民が自ら考え、判断し、実践・解決する」住民自治の取り組み意識が醸成された。 今後も、モデル事業地区を拡大し、新たな地域づくりへの取り組みを推進していく。	市民協働課	
	18-5	環境整備事業（市内一斉河川清掃・花いっぱい運動）参加数	人	12,044	実績値	11,792	11,781	11,425					市内一斉河川清掃は、【まちづくり指標No. 123と同様】 河川清掃の参加者数は昨年度より224人減少し6,924人となった。（一般：114人減、児童生徒：110人減）高齢化が進み参加困難な高齢者のみの世帯が増加傾向にあり、一般参加者は減少したが、地域活動への参加意識は高く、児童生徒も積極的に参加し、多くの住民の協力により実施することができた。 希望郷いわて国体のおもてなしを目的に花いっぱい運動に取り組んだ平成28年度と比較すると、132人減少（H28年度は4,633人）し、4,501人となった。 花いっぱい運動が地域に定着してきてはいるものの、参加困難な高齢者も増加傾向にあることから、今後は児童生徒も含めた活動の展開を拡大していく必要がある。	環境課 市民協働課	84
	18-6	元気楽らく高齢者体力アッププログラム等健康づくり教室参加者	人	6,248	実績値	5,647	5,488	5,319					要支援や要介護の状態になる可能性の高い高齢者を対象に、介護予防のための効果的な筋力トレーニング及びバランス訓練を行う教室を開催した。参加者からは、仲間づくりが図られ楽しく参加しているなかで、教室参加の効果を実感している声が多数聞かれた。 また、健康づくりサポーターや地区センター、市内関係機関と連携のもと、脳卒中などの疾病予防、運動普及などの健康増進等に関する健康教育を実施し、健康づくりに関する知識の普及に努めた。	健康長寿課 保健医療課	
	18-7	認知症サポーター登録者数	人	2,262	実績値	2,488	2,864	3,082					平成29年度は、地域住民や施設職員、児童、生徒等を対象に養成講座を開催し、認知症についての正しい理解と「認知症の方を地域で支えていく」という意識の高揚が図られた。 年々、認知症への関心が高まっており、認知症サポーター養成講座には、小学生から高齢の方まで幅広い年齢層の方が受講し、認知症を正しく理解することで、認知症の方やその家族への支援につながった。 今後も、各種団体や学校等に対して継続した働き掛けをしサポーターの養成につなげていく。	健康長寿課	
	18-8	S L 停車場プロジェクト「お出迎え隊」延べ参加者数	人	1,629	実績値	1,601	955	1,359					遠野市 S L 停車場プロジェクト推進委員会の構成団体や、郷土芸能団体、座敷わらし隊で構成したメンバーによって、S L 銀河運行日にお出迎えやイベント等を実施した。 平成29年度は S L 銀河ステーションのオープンや、四季島旅客への対応など、イベントや特別運行に恵まれ、多くの市民の力によってお出迎え対応した。今後も「オール遠野」での対応を心掛けたい。	観光交流課	
	18-9	町民運動会参加者数	人	5,000	実績値	5,760	5,113	3,981					平成29年度は、雨天のため小友町と宮守町が中止、青笹町が途中から中止となったため参加者数は前年度を下回っている。 町民運動会は、子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツに親しんで交流できるイベントとして認知されているが、参加者の固定化等の課題があるため開催方法を工夫しながら町民が参加しやすいイベントにしていく必要がある。	生涯学習スポーツ課	
	18-10	遠野みらい創りカレッジ参加者数	人	1,534	実績値	2,924	3,249	5,558					「ふれあうように学ぶ場」として、地域に根ざした活動を継続している。平成29年度は年間18の各種プログラムを実施し、市内利用者は5,558人、市外利用者は1,797人、合計7,355人の利用となっている。新たに開始したプログラムに多数の参加者があり、前年度を上回る結果となった。 今後も、各種プログラムを産学官民連携により継続、発展させ、地域活性化に結び付けていく。	生涯学習スポーツ課	